

# 30人学級実施、介護保険・国保負担軽減、市民病院充実など 市民要求実現に奮闘

日本共産党の一般質問を紹介します



細野りゆう子議員

## 児童生徒用の机・椅子の交換を

教育長 来年度予算に計上したい

細野りゆう子市議は、耐震補強の早期実施やトイレ整備など、学校環境整備を求めて質問しました。とくに普通教室へのクーラー整備は、ヒーティング化で切望されている要求であり、実態を調査して計画的に進めるよう、強く要望しました。児童生徒用つくえの交換については、補正予算の修正案は否決されましたが、「来年度予算に計上したい」と、前向きな回答を得ました。また、介護保険制度の改悪による、特養の利用者や施設の負担増の軽減を求めるとともに、在



音楽室にクーラーがつき、気分そう快

## 30人学級の早期実施を

教育長 市として学級編制のあり方を研究したい

佐々木とも子市議は、文部科学省が出した少人数学級等に関する中間報告を受けて、町田市独自で30人学級に踏み出すよう強く求めました。教育長は、「国や都の動向を見据えながら、市独自の教員採用や財政面について検討し、市としての学級編制のあり方を研究したい」と、これまでの立場を一步進める答弁をしました。この他、市の防災計画を災害に備え早急に見直すことや、全小・中学校にパソコン指導員を配置し、パソコン教室の活用を図るよう求めました。



佐々木とも子議員

## 市民病院の小児医療充実 周産期医療整備すすめるべき

助役 計画通りすすめる



佐藤よう子議員

佐藤よう子市議は市民病院の小児医療充実のための医師確保の必要性と周産期母子医療センターを病院2・3期工事の中で計画通りすすめるべきと質問。助役は「医師確保の努力はしている。周産期事業を計画通り行うための準備、検討をして



ごみ有料化後の集積所

いる」と答弁。(仮称)小山田東小学校の早期建設を求めましたが教育長は2008年度も忠生一小の教室は不足しないので一年先送りすると答弁。またごみ有料化については市民合意が得られていないので10月1日実施を見送るべきと迫りましたが、計画通りスタートするとの答弁でした。



市民病院の差額ベッド

## 市民病院4人部屋 差額ベッド料なくすべき

総院長 正論だ。必ずなくすよう努力する



とのむら健一議員

千円(徴収をなくして、市民が安心して市民病院にかかれるよう求めました。独自の調査の結果、都内、神奈川、埼玉、千葉県の公立病院の中で、4人部屋で差額ベッド料を取っているのは他にどこもありませんでした。総院長「正論だ。必ずなくすよう努力する」と答弁。中学校の部活動、とくに、プラスチック部の楽器の購入、修繕に予算拡充を質問に、教育長は、「予算の再配当の弾力的運用を考えると」と答弁。駅周辺の自転車、バイク駐車場増設については、「鉄道業者と用地確保で協議する」と答えまし

## アスベスト緊急対応を求めて

助役 民間には住宅改良制度で助成



たかしま均議員

たかしま均市議は、アスベスト対策の緊急対応を求めて質問しました。「公共施設のアスベストの有無は」この質問に、学校の体育館など一部封じ込め工法で安全は確保されていますが、「市の方針は、いづれ撤去」それまでは、適宜調査をしていきたいと回答がありました。市民の住宅改修についても「住宅改良制



アスベスト除去工事中小田急町田駅

度」で助成したいと答弁が得られました。その他に、国保の資格証交付中止を要求、鶴川駅前の公共施設用地については、「早くやりたいとの気持ちは我々も同じ」と前向きな答弁が得られました。



日本共産党市議団

## 中学校給食と音楽室クーラー視察で

## 学校訪問



美味しくそうに給食を食べる中学生

九月から、市内四つの中学校では、デリバリー方式の弁当給食が始まっています。市の栄養士が献立を作り、委託された給食センターで一括調理したうえで、ランチボックスに詰めて届けられます。訪問した中学校では、生徒の半数以上が給食を利用しており、おかずの肉じゃがを美味しく食べていました。また、学校訪問をするたびに先生方から切望されていた音楽室のクーラーも、日本共産党市議団が一般質問等で取

り上げるなかで、今年度から計画的に整備されています。今回整備された小・中各五校のうち、訪問した小学校では、音楽の授業のほか、お琴を子どもたちに教える地域のボランティアの方からも喜ばれているとのこと。また、ある中学校では、夏場、隣接する牛舎からの臭いに悩まされることなく吹奏楽の練習ができるようになったと先生も喜び、「普通教室にも、ぜひ付けてほしい」と新たな要望も出されました。

## 市民合意のないごみ有料化は再検討を

## 小山ヶ丘の廃プラスチック中間処理施設 建設は白紙撤回すべき



5000人が集まった市民集会

今年3月の町田市議会で日本共産党などの反対の中、賛成多数で可決された「ごみ有料化」は、市民合意のないままに10月1日よりスタートしました。有料化は「ごみの減量」が目的といいますが、環境省の調査でも有料化でごみの減量ができた自治体は約半数。有料化の影響で不法投棄も増えています。ごみの総量も2〜3年で有料化開始前に戻っています。隣の八王子市では、昨年八月に有料化をはじめましたが、一年間で、スタート時の3割増になっていきます。町田市民の皆さんにはアンケートをお願いしました。アンケートの値が高い。家計への負担が大きい。戸別収集の時間が遅い。不法投棄で街が汚くなった。などの声が寄せられています。アンケートへの御協力ありがとうございました。袋代、収集方法など日本共産党は

市民の声が反映されるよう、再検討を求めていきます。また、小山ヶ丘の商工業ゾーンに、「廃プラスチック中間処理施設」の建設計画が明らかになり、環境悪化、健康被害を心配する住民の皆さんによる建設反対の運動がひろがっています。建設予定地に隣接する八王子市南大沢の住民からも建設中止を求める要望が町田市に提出され、10月23日の町田市による「説明会」には1000人を超す住民が集まりました。10月31日の都市環境常任委員会で行った報告がおこなわれました。また11月13日には、八王子市南大沢の公園で5000人の市民集会が開かれました。町田市の不誠実な対応に対し、市民からは「小山田、南地域で計画されてダメだったものを、市民の同意もなしに小山ヶ丘につくるなんて許せない」との怒りが上がっています。町田市は市民の健康と命をまもる自治体としての役割をしっかり自覚し、市民が納得できない施設計画は白紙に戻すべきです。日本共産党は住民のみならず、力を合わせて頑張ります。

## キャンプ座間への米陸軍第一軍団 移転反対の「意見書」全会一致で可決

### 請願・意見書への各党の態度

町田生活と健康を守る会から提出された「共同霊園造成を求める請願」は、自民、新世紀、公明、社民ネ、市民派ク、諸派の反対で不採択となりました。日本共産党は、5件の意見書を提出しました。民主党議員から「憲法改定反対の意見書」への反対討論があり、細野りゆう子市議が賛成討論を行ないました。

○共産党提出 ○賛成 △一部賛成 ×反対

意見書・請願	日本共産党	新世紀自民	自民党	公明党	社民ネット	市民派ク	諸派	結果
キャンプ座間へのアメリカ陸軍第一軍団司令部等移転計画に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	可決
義務教育費国庫負担制度を堅持することを求める意見書	○	○	○	○	○	○	△	可決
町田市営共同霊園の増設を求める請願	○	×	×	×	×	×	×	不採択
すずかけ台駅前マンション建設に関し、「南つくし野環境維持に伴う地元住民等との協調についての覚書」が履行されることを求める請願	○	○	○	○	○	○	○	採択
憲法9条改定に反対する意見書	◎	×	×	×	○	×	△	否決
庶民大増税、消費税増税に反対する意見書	◎	×	×	×	○	×	×	否決
応益負担を導入する自立支援法案再提出に反対する意見書	◎	×	×	×	○	△	△	否決